

# 内外面同時修理 / 外面修理

## 内外面同時修理

—ユニシールウルトラを使用した内外面同時修理—



1 パンクの原因である釘等を傷穴の方向を確認しながらゆっくりと抜きます。スリップサインが出ているタイヤや異常摩耗・引きずり痕・コード切れ等異常がある場合は修理できません。



2 TRT105メジャーツールで傷穴のサイズを測定し、修理材のサイズを選定します。タイヤ内部を点検し、セパレーションやサイド部にシブがある場合は修理できません。



3 704Aスプレー式パフアー液を掛け、93スクレーパーで傷穴周りの汚れやシリコンを取り除きます。これを2〜3回繰り返します。



4 使用するユニシール・ラジアルシールより15mm程度大きめにマークします。このマークの内側をパフイングします。



5 マーク内側をS-1036低速エアパフアーを使用しパフします。使用するエアパフアーは5000回転/分以下の物をご使用ください。



6 トラックタイヤ等スチールベルトが固いタイヤの場合は、使用する修理材の軸径に応じたカーバイトカッターをS-1035エアドリルにセットして右回転で内側・外側の順番で最低3回以上繰り返してください。使用するエアドリルは1200回転/分以下のものをご使用ください。



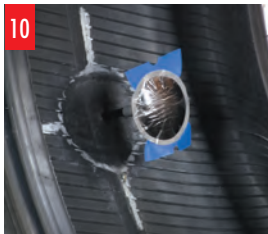
7 S-893ワイヤブラシをS-1036低速エアパフアーにセットして右から左へ軽くパフしてパフイングダスト・スチールの削り粉を取り除きます。タイヤ内に残っているダストはS-999Kエアスビップで吸い込み掃除してください。



8 760ケミカルセメントを915スパイラルツールにたっぷりつけてタイヤの内側・外側からそれぞれ右回転にて傷穴に入れます。3〜5回程度繰り返して最後に外側に挿したままにセメントの乾燥・傷穴の収縮を防ぎます。\*249ULは910セメントツールを使用



9 760ケミカルセメントを薄く塗り込むようにパフエリアに塗布します。パフエリアは越えないように注意してください。乾燥時間は3〜5分です。ドライヤー等を使用すると空気中のゴミを吹き付けてしまいますので、自然乾燥させてください。



10 ユニシール・ラジアルシールのブルーポリを写真の様にセットして、760ケミカルセメントをステム部の先端5mm程度薄く付けてタイヤ内側から挿入します。グレークッションゴムには触れないようにしてください。\*ラジアルシールは→矢印をビートの方向に合わせて挿入してください。



11 プライヤー等で外側からリードワイヤーの先端をゆっくり引張り出し、黒いゴムが出たらゴムを掴み直しゆっくりと引張り出して下さい。パッチにエグポが出るまで引張り過ぎないようにしてください。



12 936ステップローラーをパッチ中央部から外側に向かって掛けます。位置が決まったら残ったブルーポリを横方向に取り除き、再度中央部から外側へローラーを掛けます。透明フィルムも取り除きます。



13 738セキュリティーコートのパフエリアとパッチの淵に掛かる様に塗布します。乾くとグレーから黒く変化しますが直ぐにタイヤを組んでも問題ありません。



14 エアチェックを行い、漏れ等問題が無ければ、外側のゴムを3mm程度残してカットしてください。

## 外面修理

—パーマキュアを使用した外面修理編—



1 キズを確認してテックタイヤクレヨンでマークします。タイヤのエアは全部抜いて下さい。



2 マークした所より、ささっている釘などを取り除きます。



3 スパイラルツールを使用して、キズをチェックします。この時、キズ口の角度もチェックします。



4 ケミカルセメントをスパイラルツールにつけます。



5 ケミカルセメントの付いたスパイラルツールを右回しに入れて、右回しで戻します。この作業を3回繰り返して下さい。



6 5の作業後、スパイラルツールは抜かないで、タイヤに差したままにしておいて下さい。



7 パーマキュアウルトラのイエローポリをとって下さい。この時、中心部はなるべく手で触れないで下さい。



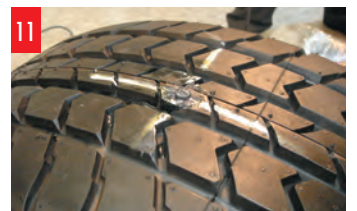
8 パーマキュアツールに差し込んだパーマキュアにケミカルセメントを付けます。ケミカルセメントブラシ付タイプを使用する場合は、ハゲが直接パーマキュアウルトラに触れないようにして下さい。



9 パーマキュアツールを真直ぐ、真下に入れて下さい。この時、決してねじらないように注意して下さい。タイヤが変型してホイールにあたるなど、パーマキュアが打ち込めない時は、最小限のエアを入れて下さい。



10 パーマキュアツールを抜いて下さい。エアのモシがないか、チェックします。



11 チェック終了後、タイヤから出ている部分をカットして外面修理の完了です。これ以降は、パーマキュアを使用した内面修理手順となります。

**重要**